



さらに詳しい情報は・・・

てんかん学と 脳機能！

運動機能再建学分野 &
神経電磁気生理学分野



中里 信和

東北大学 大学院医学系研究科 運動機能再建学分野 / 教授
東北大学 加齢医学研究所 神経電磁気生理学分野 / 教授 (兼任)

東北大学病院 てんかん科 / 科長 (兼任)

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

022-717-7343 (秘書室) -7341 (教授室) -7346 (FAX)

nkst@med.tohoku.ac.jp www.epilepsy.med.tohoku.ac.jp/

電気生理（脳波・脳の電気刺激）と磁気生理（脳磁図・脳の磁気刺激）は、てんかん学をベースに発展します！

過去に脳波学は、てんかん学とともに発展を遂げました。脳の電気刺激とあわせて、臨床神経生理学と呼ばれる学問領域です。

最近の工学技術の発展により、脳波の記録や脳の刺激は磁場でも可能となりました。これが脳磁図と経皮磁気刺激です。電気生理学とあわせて、神経電磁気生理学と呼ばれる領域です。

平成22年5月、東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センターの中に、新しく神経電磁気生理学分野が誕生しました。運動機能再建学分野の中里信和教授は、神経電磁気生理学分野の教授をも兼任しています。てんかん科もあわせて、てんかん学と脳機能研究を統合して実施いたします。

日本ではじめての新しい研究環境へ、ようこそ！ 医科学・障害科学の大学院生（修士課程・博士課程）を広く募集します。



てんかん学と脳機能研究への招待

大学病院としては日本で初の、包括的てんかんセンターが誕生します！

欧米では地域ごとの包括的てんかんセンターが機能しており、発作をコントロールできない患者さんや、発作以外にもいろいろ悩みをかかえた患者さんをつめ、大学病院の各診療科が協力して診療にあたっています。日本の大学では、これまでこのような施設はありませんでした。

平成22年秋、東北大学病院てんかん科（現時点の名称は運動機能再建学分野）では、全国の大学にさがかけて、包括的てんかんプロジェクトを始動します。発作をとらえるビデオ脳波モニタリングユニット7台と専任の技師をそろえた日本一の体制です。

センターでは、医師のみならず看護・検査・薬剤・神経心理・教育・法律・工学も含め、基礎から臨床、さらに社会学まで、さまざまな分野の出身者に研究の場を提供いたします。

研究室スケジュール（おもな予定）

イベント	日時・頻度	場所
海馬クラブ＝てんかんの基礎研究勉強会	毎週月曜 18:00-19:00	4号館2階・てんかん科研究室
脳磁図・脳波勉強会	毎週火曜 11:00-12:00	加齢医学研究所MEG検査室
EMU Club＝てんかんモニタリングユニット勉強会	毎週火曜 17:00-18:00	東12てんかん科病棟セミナー室
てんかん外来（見学可能）	毎週月曜・金曜の午前	外来診療棟3階
モニタリングユニット回診	随時	東12てんかん科病棟、西11脳外科病棟

てんかんをアキラメない！

「あなたは、てんかんです」と言ったら、患者さんは落ち込みます。たしかに、てんかんは「簡単な病気」ではありませんが、かといって「不治の病」でもないのです。何年・何十年と悩み続けてきたとしても、多くの場合、専門的かつ高度な医療によって、普通の生活が送れるよう戻すことができるのです。

